

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（矢木コーポレーション株式会社）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）													関連項目				
							1 SDGs の実現 に向けた 取り組み	2 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	3 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	4 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	5 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	6 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	7 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	8 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	9 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	10 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	11 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	12 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	13 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	14 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	15 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	16 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	17 持続可能な 開発目標 の実現 に向けた 取り組み	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			企業理念・社是・社訓を掲示、手帳への明記等、社員教育の徹底を図っている。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			企業理念・社是・社訓を掲示、手帳への明記等、社員教育の徹底を図っている。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8									16.1			
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			残業を行う際、事前申請を行い上長の承認がなければできない仕組みづくりを構築している。							8.5 8.8											
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			現状、該当者の雇用はないが、左記チェック項目の徹底は各部門長を中心に行っている。			4.4			8.7 8.8		10.2 10.3										
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			朝礼時、確認唱和等日々の行動と安全大会やミーティング時の確認、安全ハッロール、熱中症対策の徹底等安全対策に努めている。		3					8											
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			各部門長を中心にミーティング時に確認。適性検査やストレスチェックを実施。		3																
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			部門の配置転換等、適材適所への配置を促進。60歳以降の再雇用は本人の退職意志がない場合自動雇用となっている。			5.1 5.5		8.5		10.2 10.3											
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			各種国家試験やメーカー勉強会等スキルアップの機会を与えており、資格受験の費用を負担している。		4	5.5		8	9												
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			労働基準法に従った給与体系を構築している。			5.5		8.5		10.2 10.3											
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			残業時間の削減に努め、個々の時間を多く持てるよう推進している。		3				8												
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			可燃物、不燃物、紙、アルミ、鉄、プラスチックなどの産業廃棄物の分別・処理を行っている。												11.6 12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			現状の把握に努め、無駄の無いよう月管理を行い、見える化として月一回会議時に共有を図る。					7.3								13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			自社外構に太陽光街路灯を設置している。クールビズの実施。社用車のハイブリッドカー導入。			7.2 7.3									12.4 13.3						
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			仕入れメーカーと連携し取り組んでいる。		3.9		6.3									11.6 12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			周りの環境等に対し、役所と打ち合わせを行い影響を及ぼさないよう配慮している。									6.6							15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			工事等での端材等、再利用や資源物廃棄業者への徹底を行っている。												13	14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			現状の把握に努め、無駄の無いよう月管理を行っている。								6.4 6.6									
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)										3.9	6	7				12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)			製品開発での環境に対する取り組みを表記。													12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			メガソーラー事業の他、太陽光照明等の再生可能エネルギー事業を展開し、普及に努めている。								7.2					13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			間伐材の利用等環境製品に対する、公共工事や民間物件への入設、採用、工事と活用に貢献している。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			企業理念・社是・社訓を掲示、手帳への明記等、社員教育の徹底を図っている。															16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			企業理念・社是・社訓を掲示、手帳への明記等、社員教育の徹底を図っている。															16		
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			特許や意匠権、商標等登録・管理を行っている。							8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			情報管理を徹底し、総務と経理での管理に絞り適切に運用している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)			現状、紛争鉱物を含んだ製品を利用していない。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)										5	8	10	12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)	【予定】		「パートナーシップ構築宣言」の作成、公表予定。			3					8	9	10							17

項目番号	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)		部門別に責任者を選定し仕組みを構築している。安全パトロールの実施。														12.4				
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)		部門別に責任者を選定し仕組みを構築している。お客様の意見を聞き製品の改善に努めている。											9							
31	社会貢献	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		太陽光照明灯等持続可能なエネルギー創出に取り組んでいる。								6						12	13	14	15	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		防災減災アイテムの開発や自然エネルギーの活用など開発展開に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)		道路標識や区画線等、電光掲示板(災害時や交通情報)交通安全事業へ注力し安全で暮らしやすいまちづくりに貢献している。									4				9	11	12	14	15	17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		地域のイベント(長野マラソン、びんずる)等に、寄付活動の他、毎年、道路標識やカーブミラー等の清掃ボランティア活動を行い社会貢献に取り組んでいる。									4				11	14	15		17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ(任意)			地産地消製品開発に取り組んでいる。(間伐材等)									8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本(必須)			企業理念・社是・社訓を掲示、手帳への明記等、社員教育の徹底を図っている。									8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本(必須)			コンプライアンス研修を実施している。																		16
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本(必須)			責任者を配置している。																		16
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本(必須)			商工会議所等を中心に地元の要望や問題点を把握し業務改善や地域への貢献に繋げている。																	16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ(任意)			現場単位で工程表を作成、リスクの抽出と協議を行いリスクに対し注意を払っている。																		16
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます	チャレンジ(任意)			地元雇用の促進、清掃、地元イベント参加等、企業の社会的責任の他、太陽光等の自然エネルギー普及に努めている。																	16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ(任意)			事故や災害時への対応保険加入や多角経営を展開。災害時の非常電源確保と非常用飲料食料を設置。												9	11	13	13.1		16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ(任意)			異業種との連携強化や新規事業等対策を行っている。										8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定